

7 ワークシートの活用の仕方

ワークシートとは…

ワークシートとは、学習内容やポイントを明確に簡潔にまとめることができ、効率的かつ効果的に生徒の学習を手助けする役割を果たす教材です。ワークシートに「書く」活動は、考えを整理するために有効です。

☆ワークシートの保存

せっかく書き上げたワークシートも、整理が行き届かないと紛失してしまったり、破損したりします。

そこで、ワークシート類はファイルにとじたり、クリアファイルに保管させるようにします。

また、時々ファイルの状況を点検するなどのフォローが大切です。

ノートに貼る場合にも、正確に指示をして、整理できるようにしましょう。

ワークシートの活用

生徒にとって、ワークシートが解答を書き込むだけの作業プリントになってしまうのでは、生徒の学びは深まりません。本時のねらいが達成できるように、ワークシートを活用しましょう。

例えば、課題に対する自分の考えをまとめるために書く、資料を読んで気付いたことを書く、発表のメモを書く、聞いたことをまとめる、分かったことを整理する、本時を振り返るなど、様々な学習活動に活用できます。

また、ワークシートの活用は、評価活動や生徒とのコミュニケーションにも役立ちます。

ワークシート作成のポイント

どのようにワークシートを活用するのか、生徒にどのような力を身に付けさせたいのかを考えましょう。

目的によって、シートの内容や、扱い方が変わるはずですが、ねらいを明確にして作成しましょう。

個別支援
が必要な
生徒への
対応を考
えよう

特性に配慮したワークシートづくり

ワークシートの図の意味を一目見て理解することが困難であったり、簡単な説明だけでは適切な答えが導けない生徒がいます。質問文の字の大きさや書体などを工夫するほか、視覚的に理解しやすい図の工夫、簡潔で分かりやすい質問内容など、生徒の特性に配慮したワークシートづくりを心掛けましょう。



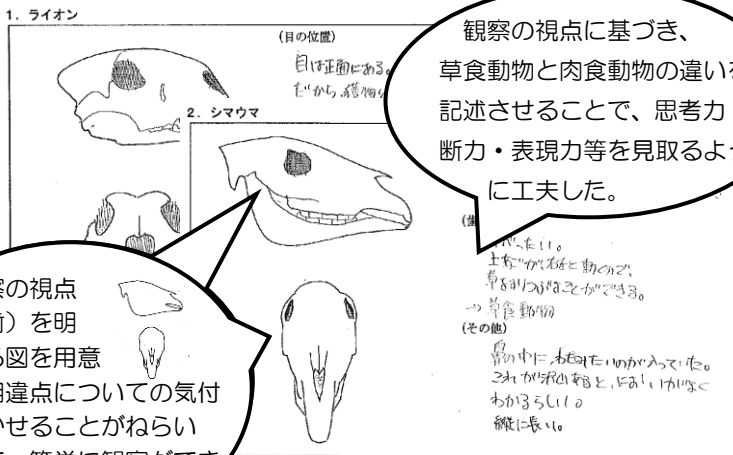
ワークシートを作る視点

生徒に身に付けさせたい力がはっきりしたら、その力の育成に効果的なワークシートを作成しましょう。

身に付けさせたい力による違いの例

課題「肉食動物と草食動物の頭骨標本を観察し、気が付いたことをまとめてみよう。」

(身に付けさせたい力)：「思考力・判断力・表現力等」の場合



観察の視点(目や歯)を明確にする図を用意する。相違点についての気づきを書かせることがねらいなので、簡単に観察ができるよう工夫した。

観察の視点に基づき、草食動物と肉食動物の違いを記述させることで、思考力・判断力・表現力等を見取るように工夫した。
 (目) 目の位置にある。目から、草食動物の...
 (歯) 肉食動物は、上顎にある動物の歯、草食動物は、歯が長い。骨の中には、肉食動物の歯が、草食動物の歯と、歯の長さが異なる。縦に長い。

(身に付けさせたい力)：「技能」の場合

2 シマウマ

横からのスケッチ	正面からのスケッチ
気が付いたこと：	

観察しスケッチすることがねらいなので、スケッチの欄を大きくとる。

☆学習活動を充実させるワークシート

授業の流れを示すことで、次にどんな活動をするのか生徒に理解させることができます。

また、新単元の内容を含めることで、発展的な学習を可能にしたり、活動のヒントや参考資料を記載したりすることで、苦手な生徒の理解を助けることもできます。

生徒の実態に応じて作成することや、生徒にとって適切な分量と内容になるように留意するのがポイントです。

出典：神奈川県立総合教育センター 平成 22 年作成
 「〈中学校・高等学校〉 数学・理科授業づくりガイドブック」p.54

ワークシートと評価

学習評価においては、生徒の記述物の点検・確認・分析を行う場面が多いと思います。評価の見取りがしやすくなるよう、ワークシートの形も工夫する必要があります。

例えば、「事実の整理」は『知識・技能』とつながりますが、箇条書きにできるよう、罫線を入れてはどうでしょうか。「説明」では『思考・判断・表現』を見取ることが多いので、図を描けるように広く枠取りをする、理由や根拠の欄を作るなど、学習活動と学習評価の両方を想定しながら作るとよいでしょう。→4章-6